



R.I.District2610. ROTARY CLUB OF UOZU

魚津ロータリークラブ

2014-2015 年度 R I 会長 ゲイリー-C.K.ホアン
2014-2015 年度 魚津RC会長 平崎 暉夫

2926回例会
2014.7.11
ホテルサン
ルート魚津

スィングベルを寄贈 生駒さん 21日 海の駅に設置

当クラブの生駒晴俊さん(79)が、平和を願う鐘を魚津市に寄贈し「海の駅・蜃気楼」近くに設置されます。21日に現地で寄贈のセレモニーが行われ、生駒さんと親交のある海老名香葉子さんも出席されます。東京から疎開して70年の節目に、これまでお世話になった人への感謝を形にしたいと願ってのこと。会員の谷口貞夫さんも協力されました。戦争の悲惨さと平和の尊さを訴える思いを鐘の音に託された、その気持ちを寄稿していただきました。

戦時中の昭和19年春、東京の空襲は日増しに激しくなりました。就学している児童は空爆のないところへ集団疎開か、縁故疎開を強制されました。

私と弟は母の実家である魚津に疎開しましたが、翌年3月10日未明の東京大空襲は一晚で20万人の命を奪いました。

子供心に響いた歌

東京にいた私の家族6人も残念ながら行方不明となりました。叔父が探しに行きましたが、焼け跡に両親が営んでいた銭湯の煙突と倉庫だけが残り、家族は見つげ出すことができませんでした。

5歳、3歳、2歳だった妹や弟はどんなに苦しんでいったのか。そう思うと愛おしさで今も胸がいっぱいになります。その分、私が一生懸命生きて少しでも世のために尽くさなければと思うのです。祖父母の暖かい懐で育てられ、何不自由のない生活でしたが、親のない寂しさは、深く胸に刻まれていました。

戦後、ラジオから流れてきたラジオドラマのメロディ「鐘の鳴る丘」は、戦災孤児たちの集団生活を元気づけるものだったことを思い出します。子供心にこのメロディを聴いては一抹の寂しさを感じていたのを思い出します。

感謝の心を形に

魚津に来て70年の歳月を経て、優しい人々に助けられ、育まれた人生を振り返る時、この御恩に報いるため、何か形のあるものを残したいと思い続けていました。

平成20年頃、当時の魚津税務署長だった松浦さんが講話の中で「魚津には蜃気楼が現れる。その存在と恩恵を意義付ける施設があってもいいのではないか」と言われたのを思い出しました。

神秘的な蜃気楼を望み、それぞれが、自ら受けた恩恵に感謝を込めて鐘を鳴らすスィングベルの設置を企画したのです。

谷口貞夫さんも協力

ロータリークラブの友人の谷口貞夫氏からも「私にも協力させてほしい」と言ってもらいました。感謝しています。



鐘に感謝の気持ちを込め、寄贈する生駒さん
魚津市道坂、北陸精機

この企画が動き出してから、いつの間にか私の脳裏には「鐘の鳴る丘」のメロディが鳴っているのです。

父さん母さんいないけど、みんな仲良きこう。

(生駒晴俊)

鐘の鳴る丘

作詞・菊田一夫
作曲・古閑裕而

緑の丘の赤い屋根
とんがり帽子の時計台
鐘が鳴ります キンコンカン
メーデー仔山羊も啼いてます
風がそよそよ丘の上
黄色いお窓はおいらの家よ
緑の丘の麦畑
おいらが一人できるときに
鐘が鳴ります キンコンカン
鳴る鳴る鐘は父母の
元気でいろよという声よ
口笛吹いておいらは元氣
とんがり帽子の時計台
夜になったら星が出る
鐘が鳴ります キンコンカン
おいらは帰る屋根の下
父さん母さんいないけど
丘のあの窓おいらの家よ
おやすみなさい 空の星
おやすみなさい 仲間たち
鐘が鳴ります キンコンカン
昨日にまさる今日よりも
あしたはもっと幸せに
みんな仲良くおやすみなさい

「心通う仲間」に値打ち

例會挨拶で平崎会長は、ロータリークラブの「値打ち」について所見を述べられました。クラブの運営方針とは別に、ロータリークラブの成り立ちや定義から、あるべき姿をあらためて認識することで円満で楽しいクラブとしたい考えです。

「クラブはロータリアン家族」 平崎 会長

会長は、ロータリー仲間は職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりであると定義されていることを指摘したうえで「仲間づくりは、共通の興味や共通の職業・地域・年代、その他から派生する。ロータリー仲間には、このような知友とは違った倫理観を持ち備えた人が多い」と述べ、他の組織では生まれなない親しい関係が醸成されると強調されました。

「友愛」という言葉を挙げて「フレンドシップと表現するが、われわれは、ロータリークラブを媒体として一種の家庭的友愛のつながりへと成長していくことが求められる」と述べ、クラブは「ロータリアン家族」だとの思いを示されました。

また、ローリークラブの値打ちとして「友愛で心のこもった楽しいクラブを作りあげることを挙げ、「一時期よく言われた、楽しくなければロータリーではない」という言葉の本来の意味合いだ」と話されました。



会員相互の関係について「家庭的友愛のつながりとして成長したい」と話す平崎会長



(写真)
野澤良成さんに第2610地区の「友情交換委員」、愛宕彰さんに「インターアクト委員」の委嘱状が平崎会長から手渡されました。二人の神妙な表情に実直なお人から



(撮影 川岸)

2014-2015
年度

活動方針

- クラブ創設以来の事業や業績の経過などを含めて教宣活動する。入会3年未満の会員を対象にした研修会を2回程度ひらきたい。

池上ロータリー
情報委員長
- 現会員の維持と新入会員による会員純増を目標としている。現会員1名を目標に入会候補者推薦活動を展開したい。

中尾
会員委員長
- 出席率100%達成手段として、例会出席の報告や欠席者のメイクアップ選択肢の一つとして会長・幹事出席の委員会を多く企画したい。

辻
出席委員長
- 親睦を深めるため、季節の旬の会、暑気払いの会、ゴルフ、花見、年忘れ家族会、日帰り旅行などを開催したい。

寺田
親睦副委員長
- 目標金額達成及びニコボックスタイムを会員同士の和やかな情報交換の場としたい。ユーモアあふれる楽しいメッセージをお願いしたい。

中川ニコボックス
委員長
- クラブと関わりの深い施設などの美化・植樹活動の拡充、心身障害者の支援、他団体との連携強化に取り組みたい。

稲盛地域環境
委員長
- 魚津工業高校とのパイプを太くし、奉仕と国際理解に貢献する人材を輩出できるよう教育支援する。インターアクト交流、新たな支援・協力を検討したい。

愛宕インターアクト
委員長
- ロータリー活動の原点に立ち返り、地域レベルから国際レベルまで人類のための国際奉仕の本質について考えていきたい。

大島世界社会
奉仕副委員長
- 創立60周年記念事業に姉妹提携している釜山釜一RCを迎えるため、企画内容を早急に検討したい。姉妹提携20周年の節目でもあり、記念事業についても考えたい。

川岸釜山釜一友
情交換委員長
- 今年度の交換学生の派遣、及び受け入れ計画はない。他クラブとの交流の機会を作っていきたい。

寺田国際青年
交換委員長
- これまでのロータリー財団の資金運用を活用したい。昨年、米山奨学生としてセツ・キセイさんを担当したが、今年はないので10月に米山奨学生の卓話を予定したい。

若井ロータリー
財団委員長

クラブ
協議会
委員会

Happy Birthday

妻は還暦を迎え、ソロプチミストで色々活動しています。二人合わせて130歳を迎えた時は記念行事を行いたいと思います。

宮本汎（夫人）



70歳を過ぎますと年齢が分からなくなるこの頃です。これからは、会長の指示に従っていきたい。これからも元気にやります。

広浜茂貞



我以外皆我師

～おしえてください～

トイレの臭い、カビ臭、タバコ臭、ペット臭、生ゴミのいや～な臭いなど、いろんな臭いに悩まされていませんか？

消臭剤を使っても一時的効果しかなく、すぐ臭いが戻ってきます。私は24年間、建物のクリーニングに携わってきました。時々お客様から「臭いを消してほしい」という相談を受けてきましたが、今まで決定的な解決策がないまま来てしまいました。

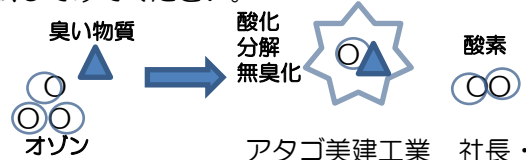
しかし、今まさに決定的と言えるものが見つかりました。

それが**オゾンによる脱臭**です。

よくカビ取りや殺菌・漂白などに次亜塩素酸ナトリウム（ブリーチなどの主成分）を使いますが、この5倍以上の殺菌力・酸化力があるオゾンは、今までどうしても消えなかったタバコ臭やペット臭などをしっかり脱臭してくれます。

オゾン（O₃）は酸素（O₂）にもう一つ酸素原子がくっついた状態の分子で、不安定なため、他の物質と化合して酸素に戻ろうとします。

オゾンは気体のため、例えば部屋にオゾンを注入すると、隅々まで入り込んで脱臭・除菌します。車の中やトイレ、タバコ臭くなった部屋などにオゾン脱臭を試してみてください。



アタゴ美建工業 社長・愛宕彰

《案内》

■ポップサーカス

◎日時 開催中。8月31日まで
(火曜休演)

◎会場 アルペンスタジアム駐車場

◎主催 北日本新聞社

創刊130周年記念事業。7月19日以降、火曜を除く平日は午前、午後の2回公演。土日とお盆期間(13～15日)は3回公演。詳細は076(437)4555まで。

■稲盛ファーム50周年記念感謝祭

◎日時 7月19日(土)、20日(日) 午前9時～正午

◎会場 稲盛ファーム直売所奥
(魚津市石垣新3590)

電話0765(22)0703

EM米の卵かけごはんが300円で食べ放題！お米の特売、無農薬・無化学肥料のじゃがいも掘りも体験できます。

■出席報告

30人 85・71%

メイクアップ済 中田さん

2924回

修正出席率 71・42%

■ニコボックス

野澤 今年度、国際奉仕常任委員長を担当します。世界社会奉仕、釜山釜一友情交換、国際青少年交換の委員の皆様、一年間よろしく申し上げます。

中川 ニコボックス委員長として一年間よろしく申し上げます。

大村 今年度、会計に指名されました。よろしく。

《次回例会》

「ガバナー補佐訪問」

7月25日(金)

ホテルサンルート魚津

午後0時半～

《誕生日》

Essay Column Essay Column Essay Column Essay Column Essay Column

「虫」の季節

○…人間様は、ハエや蚊との戦いをどれくらい続けているのだろう。人はいまのところ、大雑把な食物連鎖を描くと、地球の生命体のたぶん頂点にいると思われるが、ハエや蚊との戦いにははたして勝利していると言えるのだろうか。

昔の人もそんなことを考えたのかどうか、「腹の虫がおさまらない」とか、「虫の知らせ」「虫の居所が悪い」などという言い回しを編み出した。

ところで、本当に腹に虫がいたのは、日本の衛生状態が良くなかった時代のはずだったが、分別盛りのいい大人が日本中の人の腹に虫を棲まわせてしまった。

○…兵庫県議会の47歳無所属議員が昨年1年間に195回の日帰り出張をし、その旅費を政務活動費から支出していた。2日に1回以上のペースだ。

どんな組織でも、旅費などの経費を請求するには領収書ぐらい必要になるが、その類は一切なし。収支報告書に活動の記載もないそう。それで経費請求できる組織・制度というのはいかがなものか。政務活動費だって元々は税金。ついには告発されたが、着服の疑いを晴らすには何より明快な説明が必要だ。

地元ではきっと「先生」と呼ばれていたろうに、釈明会見のテレビ画面に映し出されたのは、少子化問題がどうだ、西宮が何だとか子どものように泣きながらわめく

光景だった。単語を並べるだけで脈絡がなく、何を言っているのかさっぱり分からない。

本当に説明する意思があれば、例えば涙が出たとしても相手に伝えるための努力をするものだ。大口を開けた泣き顔も、視聴者の同情を期待して作っているように見えてならなかった。

○…北海道・小樽市では、飲酒ひき逃げ死亡事故で3人の女性が亡くなった。29歳から30歳の若さである。

何の過失もないのに、あまりに突然命を奪われた。大きくへこんだ車のボンネット、路上に散乱した女性たちの衣類など。ニュースに触れ、言葉を失った人も多かっただろう。

運転していた30代の男は、酒を飲んだうえ、携帯をいじりながら車を走らせていた。事故後もタバコを買いに行ったことが分かっている。

同じ日のニュースに29歳の川口市職員がミニバイクの65歳の女性に乗用車で追突し、1.3キロも引きずって死亡させたというのもあった。酒に酔った状態で警察に出頭してきたそつだが、その感覚も理解できない。警察は事故当時の飲酒についても調べているそう。

日本の20代、30代、40代の男の情けない行いが相次いだ。

「虫酸が走った」人も多かったのではないかと。

(ま)